

心考体感

花祭り・金牛神輿巡行

青年会議所の先輩方が、歴史の証拠でもあり、地域の宝である御神輿を修復され「金牛神輿」と命名されました。「わっしょいカーニバル」から「子供みこしの巡業協力」そして、会陽 500 周年を記念して「金牛神輿の巡行」とい新たなお祭りが誕生し参画しました。



3JC合同例会・合同懇親会 (西大寺・玉野・備前) (公社)日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 会長公式訪問



玉野 JC 主管でダイヤモンド瀬戸内マリンホテルで執り行われました。大植副理事長の JCI クリートの素晴らしさ、新会員である大中委員の「私の仕事」をテーマにした 3 分間スピーチで西大寺らしさを表現してくれました。

第68回岡山ブロック会員懇親野球大会 ～白球で紡ぐ絆～



15年ぶりに西大寺青年会議所主幹で盛大に開催されました。天気にも恵まれ、谷実行委員長をはじめ西大寺JCメンバーが一丸となって取り組みました。残念ながら、試合の方は、一回戦で敗退してしまいましたが、中西理事長の力投、白球を真剣に追うメンバーの姿が印象的な1日となりました。

SDGs 出前授業in学芸館高等学校

(公社)日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 道德社会創生委員会

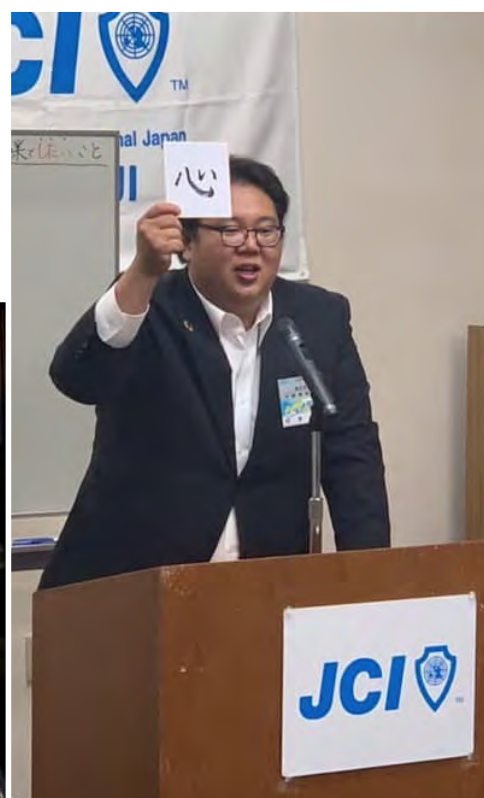
柴田直前理事長が担当副会長として出向されております、道德社会創生委員会が学芸館高校でSDGsの出前授業を行いました。SDGs導入部分の基礎知識、取り組み方を学生さん達とワークショップを通じて理解を深めました。



6月例会

来たる創立 60 周年に向けた
各々の想いを 1 文字に託しま
した。現役メンバーがどのよ
うな 1 年をカタチ作っていく
のか今から楽しみでありま

す。また、例会後の懇親会
では、活動エリア内にある九幡
漁港の四手網という漁法を用
いて地元産のエビ・イカ・マ
マカリを堪能しました。



第55回岡山ブロック大会



6 月 30 日（一社）高梁青年
会議所様の主管の第 55 回岡
山ブロック大会が開催されま
した。

「SDGs と防災」をテーマと
した基調講演、パネルディス
カッションも行われ当青年会
議所の柴田直前理事長が副会
長として、中島副委員長が委
員として出向されている道徳
社会創生委員会が設営して下
さり自助、公助、減災、防災
といった強靱な地域づくりの
取り組みを学びました。



7月例会

来る7月10日に7月例会が行われました。会員候補者として野崎様、土井様をお迎えし、例会がどのようなものか、JCは何かと知っていただきました。また、本年度JCが

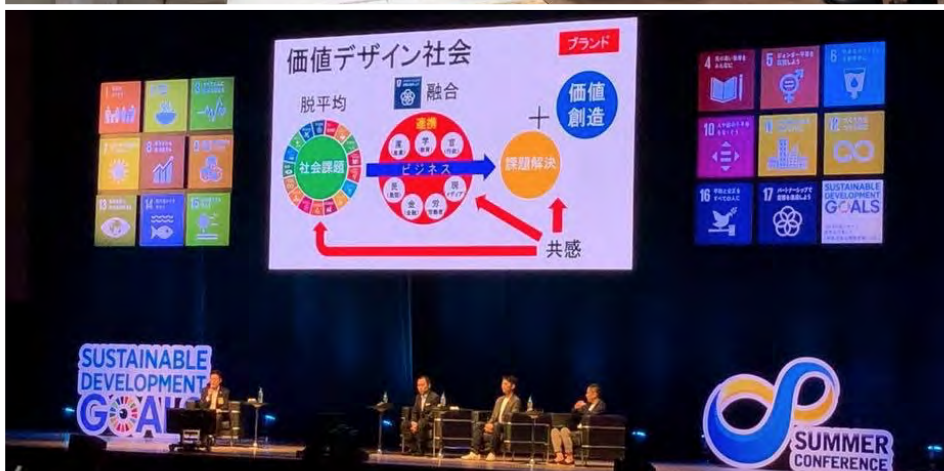
推進しています「SDGs」を学ぶために、岡山ブロック協議会道德社会創生委員会菊池委員長をお迎えし、「SDGsと自社のビジネスをつなげよう」をテーマとしてご講演

いただきました。メンバーのビジネスをモデルとしてピックアップし17のゴールとの関連性、事業性を分析し、熱い意見が飛び交いました。



サマーコンファレンス2019

7月20日、21日に横浜の地にてサマーコンファレンスに参加してまいりました。(公社)日本青年会議所の運動の中心であるSDGsについての発信、各界の有識者によるファンクションが行われ、全国のJCメンバーが横浜に集結し、西大寺JCとしても9名が参加いたしました。



8月例会



8月はお盆ということもありましていつもより一週間早い8月7日に8月例会が開催されました。委員会アワーでは、「伝える力」をテーマとした「メッセージゲーム」をメン

バーで行いました。お題（図形）をグループ内で言葉だけの確にお題（図形）を伝えるというゲームです。最初は、上手く伝えられないメンバーも各グループ内でアドバイス、

指摘を受け後半では、伝える力が向上していました。メンバー間の意思疎通が少しでも向上し、西大寺青年会議所も更に活気のある団体になると確信しています。

ブロックアカデミー事業「スポーツ雪合戦」



8月30日に真庭の地にて、3年以内のJC会員を対象としたL O Mの垣根を越えて、人材の育成、交流を図る事業となっています。まだまだ、酷暑の時期に氷を削り雪玉を参加メンバーで作製、戦略、戦術、コミュニケーションを取りながら10チームが競いながら頂点を目指しました。勝敗も大切ですが、人のつながり、資質を向上させる事業となりました。



CONGRATULATIONS!

宮武葵君のお子様です

みやたけ さわ
宮武佐和ちゃん

令和元年7月29日生

3376 g



*本人です!(^^)!

阿部哲也君のお子様です

あべ じんけい
阿部秦京くん

令和元年8月23日生

3472 g



お父さんの背中です(^-^*)

寄稿に寄せて、西大寺JCメンバーのお二人が新しい命が生まれました。

それぞれ、頑張るお父さん、お母さんですのでJC運動とは違った家庭での素朴な顔を見させていただきました。JCでは、恩を受けた方に、恩を返すのではなく、次世代に恩を送ることが最大の恩返しと教えてもらいました。命を繋ぐことも明るい社会の実現に重要な要素だと感じました。

発行責任者：中西秀和

編集責任者：柿内慶教

編集員：神宝貴章